

令和6年度

東京都内特別養護老人ホーム入所(居)待機者に関する実態調査

令和6年12月

東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会 制度検討委員会

## 1 はじめに—今回の調査の目的

東京都高齢者福祉施設協議会 制度検討委員会では、平成27年度より特別養護老人ホーム(以下、特養という)の入所要件が原則要介護3以上となったことや、所在地・近隣地域における施設整備の進展などから、待機者の実態を把握するため「東京都内特別養護老人ホーム入所(居)待機者に関する実態調査」を継続して実施している。昨年、東京都が実施した「特別養護老人ホームへの入所申込等に関する調査」では、申込者の内「優先度高」の方は令和元年の3820人に対し、令和4年度は3016人と21%減少している。さらに、都内の特養の待機者が減少し続けているとともに医療依存度の高く入所(居)対象から外れてしまう待機者も含まれているため、施設の取り巻く環境はさらに厳しい状況となっている。

特養は介護のみならず、福祉の拠点、雇用の受け皿となっている。すなわち、特養は地域住民にとって大切な社会資源である。その特養の実態を明らかにすべく、今年度も特養基礎調査に於いて、入所(居)待機者に関する実態把握を行った。都内の特養の実態を継続的に調査・分析、把握する中で、高齢者施策に関する国、東京都の制度、政策、自治体の取り組みなどに対する要望、提言活動に資する資料をつくることを目的とする。

[要望・提言に向けた視点]

- (1) 待機者減少の実態把握
- (2) 待機者減少の要因と対策
- (3) 待機者減少と特養稼働率の低下の相関性
- (4) ショートステイ需要の後退の要因と対策

## 2 調査の設計

調査対象：東京都高齢者福祉施設協議会会員の特別養護老人ホーム519施設

調査期間：令和6年7月1日～7月31日

調査方法：ウェブサイト上での回答

回収結果：323施設（回収率62.2%）

回答結果の分類：地域特性を考慮するため、回答施設の所在地ごとに以下のとおり分類した。

【23区】23区

【多摩東部】清瀬市・東村山市・東久留米市・西東京市・小平市・武蔵野市・東大和市・武蔵村山市・立川市・昭島市・国分寺市・国立市・小金井市・府中市・三鷹市・調布市・狛江市・日野市・多摩市・稲城市・町田市

【多摩西部】奥多摩町・青梅市・羽村市・瑞穂町・檜原村・あきる野市・日の出町・福生市・八王子市

【島しょ】島嶼地域

### 3 集計結果の概要

#### (1) 基本情報

##### ①回収率

	回答数	地域別割合	送付数	回収率
23区	170	52.7%	290	58.6%
多摩東部	85	26.3%	133	63.9%
多摩西部	66	20.4%	91	72.5%
島しょ	2	0.6%	5	40.0%
合計	323	100%	519	62.2%

##### ②施設種別

	回答総数	従来型			ユニット型			一部ユニット型		
		回答数	回答数に対する割合	所在地別割合	回答数	回答数に対する割合	所在地別割合	回答数	回答数に対する割合	所在地別割合
全体	323	179	—	56.3%	111	—	30.9%	33	—	12.8%
23区	170	87	48.6%	51.2%	68	61.3%	40.0%	15	45.4%	8.8%
多摩東部	85	48	26.8%	56.5%	25	22.5%	29.4%	12	36.4%	14.1%
多摩西部	66	42	23.5%	63.6%	18	16.2%	27.3%	6	18.2%	9.1%
島しょ	2	2	1.1%	100.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%

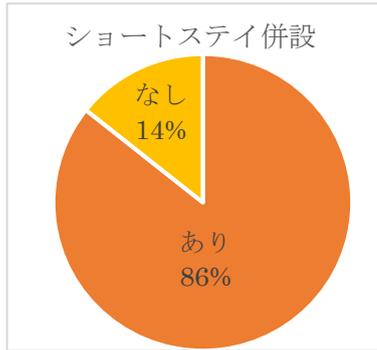
- 回答施設の56.3%が「従来型」であり、ユニット型施設が最も多い地域は23区で61.3%の結果であった。
- 地域ごとの「ユニット型」の回収状況（23区:40.0%、多摩東部:29.4%、多摩西部:27.3%）を比較すると依然として23区が最も高く、多摩東部、多摩西部も含め、全体的に前年比では微増結果となった。

##### ③特養定員数×退所人数

	令和5年度 (N=308)			令和4年度 (N=305)			令和3年度 (N=301)		
	特養定員総数 ①	退所人数総数 ②	退所率 ②/①	特養定員総数 ①	退所人数総数 ②	退所率 ②/①	特養定員総数 ①	退所人数総数 ②	退所率 ②/①
全体	28,898	8,357	28.9%	28,612	7,588	26.5%	28,564	7,894	27.6%
23区	14,457	4,248	29.4%	15,400	4,097	26.6%	14,164	3,981	28.1%
多摩東部	7,495	2,173	29.0%	6,197	1,604	25.9%	6,787	1,860	27.4%
多摩西部	6,862	1,913	27.9%	6,793	1,840	27.1%	7,391	2,006	27.1%
島しょ	84	23	27.4%	222	47	21.2%	222	47	21.2%

- 特養定員総数に対する退所人数の割合は、例年、約25.0%程度の結果となっている。今年度調査に於いては全体の退所率が、年間で28.9%となり、8,357床分のベッドが空き、待機者への新たな入所（居）案内が可能となる結果となった。

④ショートステイの併設



	回答数	あり		なし	
		回答数	割合	回答数	割合
全体	321	275	85.7%	46	14.3%
23区	169	160	94.7%	9	5.3%
多摩東部	85	73	85.9%	12	14.1%
多摩西部	65	40	61.5%	25	38.5%
島しょ	2	2	100.0%	0	0.0%

●ショートステイの併設状況については、今年度も各地域共に大きな変化は見られなかった。

⑤ショートステイの定員数 ※ショートステイを併設している 275 施設が母数

	回答数	定員数	
		合計	1施設あたり平均
全体	275	2,586	9
23区	160	1,671	10
多摩東部	73	618	8
多摩西部	40	286	7
島しょ	2	11	6

●ショートステイの平均定員数については、全体で9床となり、今年度も大きな変化は見られなかった。

## (2) 入所(居)申請及び待機者の状況

### ①入所(居)待機者のカウント方法

	回答数	申込者の人数と同じ		入所(居)判定基準等をクリアした入所(居)可能な方		その他	
		回答数	割合	回答数	割合 ※( )前年数値	回答数	割合
全体	312	196	62.82%	108(87)	34.62%(33.08%)	8	2.56%
23区	163	94	57.67%	63(59)	38.65%(39.86%)	6	3.68%
多摩東部	82	61	74.39%	19(8)	23.17%(14.55%)	2	2.44%
多摩西部	65	40	61.54%	25(18)	38.46%(31.58%)	0	0.00%
島しょ	2	1	50.00%	1(2)	50.00%(66.67%)	0	0.00%

●入所(居)待機者のカウント方法について調査をした結果、全体で62.82%の施設が「申込者人数」を待機者としていた。また、「入所(居)判定基準等をクリアした入所(居)の可能な方」の割合については多摩東部、多摩西部で増加傾向にあり、減少する待機者をより正確に把握するため、入所(居)可能な待機者の実態把握に努めていると考えられる。

### ②入所(居)申込の窓口および入所(居)待機者名簿の管理

#### [申込窓口]

	合計	各施設		自治体		各施設と自治体		その他	
	回答数	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全体	315	183	57.7%	77	26.0%	53	15.5%	2	0.8%
23区	165	65	39.4%	74	44.8%	25	15.2%	1	0.6%
多摩東部	82	66	80.5%	3	3.7%	12	14.6%	1	1.2%
多摩西部	66	50	70.2%	0	0.0%	16	28.1%	0	0.0%
島しょ	2	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

#### [名簿管理]

	合計	各施設		自治体		各施設と自治体		その他	
	回答数	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全体	315	134	42.5%	72	22.9%	106	33.7%	1	0.3%
23区	165	25	15.2%	72	43.6%	68	41.2%	0	0.0%
多摩東部	82	60	73.2%	0	0.0%	21	25.6%	1	1.2%
多摩西部	66	49	74.2%	0	0.0%	17	25.8%	0	0.0%
島しょ	2	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

●申込窓口は、23区では自治体が最も多く、多摩地域に於いては「各施設」が最も多かった。名簿管理でも23区は「自治体」が最も多く、「自治体」と「各施設と自治体」を合わせると84.8%の結果となった。多摩東部、多摩西部では「各施設」が最も多く、過去の調査と比較しても特に大きな変化は見られないが、地域によって対応方法が異なる結果となった。

③自治体から名簿が送られてくる頻度

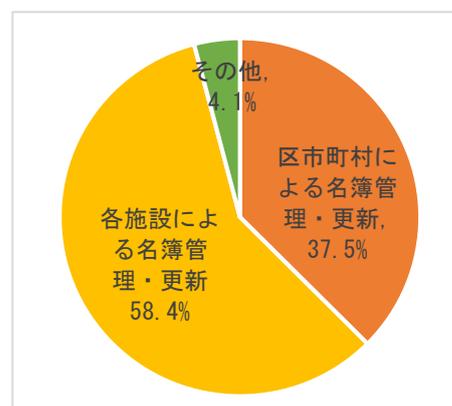
名簿管理で「自治体」または「各施設と自治体」と回答した施設) (N=178)

	1ヶ月		2~3ヶ月		半年		1年		随時		特に定められていない		その他	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全体	77	43.3%	44	24.7%	27	15.2%	4	2.2%	13	7.3%	3	1.7%	10	5.6%
23区	59	42.1%	39	27.9%	24	17.1%	0	0.0%	11	7.9%	2	1.4%	5	3.6%
多摩東部	11	52.3%	2	9.5%	1	4.8%	4	19.0%	1	4.8%	1	4.8%	1	4.8%
多摩西部	7	41.2%	3	17.6%	2	11.8%	0	0.0%	1	5.9%	0	0.0%	4	23.5%

●名簿が送られてくる頻度は、すべての地域で1ヶ月単位が最も多い結果となった。また、半年、1年と回答した施設が全体で17.4%となった。前年調査では1ヶ月が37.3%、半年・1年が23.6%と短いスパンで名簿が送られるようになってきている結果となった。

④望ましいと思う、待機者名簿の管理や更新方法はどれですか。

	合計	区市町村管理		各施設管理		その他	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全体	315	118	37.5%	184	58.4%	13	4.1%
23区	165	96	58.6%	60	32.4%	9	9.0%
多摩東部	82	14	16.1%	64	80.4%	4	3.6%
多摩西部	66	8	12.3%	58	80.7%	0	0.0%
島しょ	2	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%



●23区では「区市町村管理」が58.6%と最も多く、多摩東部では80.4%、多摩西部では80.7%が「各施設管理」が望ましいと回答しており、現在の名簿の管理や更新方法を継続した形が望ましいと考えられている結果となった。

⑨1人が入所申し込みできる施設数

	回答数	中央値
全体	62	3
23区	60	3
多摩東部	2	10
多摩西部	0	0

制限なし
246

●申し込み可能施設数については246施設で「制限なし」と回答されており、自治体によっては一部制限しており、中央値で3施設の結果となった。

⑩施設所在地の自治体以外からの申込者数(令和6年3月31日現在)

	回答数	他の道府県からの申込者数		都内の他の自治体からの申込者数		施設所在地の自治体内からの申込者数	
		合計人数	平均(人)	合計人数	平均(人)	合計人数	平均(人)
全体	315	1,447	5	6,965	22	38,493	122
23区	165	668	4	1,282	8	19,607	119
多摩東部	82	427	5	2,934	36	15,572	190
多摩西部	66	352	5	2,749	42	3,303	50
島しょ	2	0	0	0	0	11	6

●「他の道府県からの申込者数」、「施設所在地内の自治体」は23区が最も多く、「都内の他の自治体からの申込者数」は多摩東部が最も多い結果となった。

⑪待機者に入所(居)の案内をした際に断られた人数

	令和5年度			
	回答数	中央値	最大値	最小値
全体	323	5	224	0
23区	170	6	120	0
多摩東部	85	5	134	0
多摩西部	66	5	224	0
島しょ	2	0.5	1	0

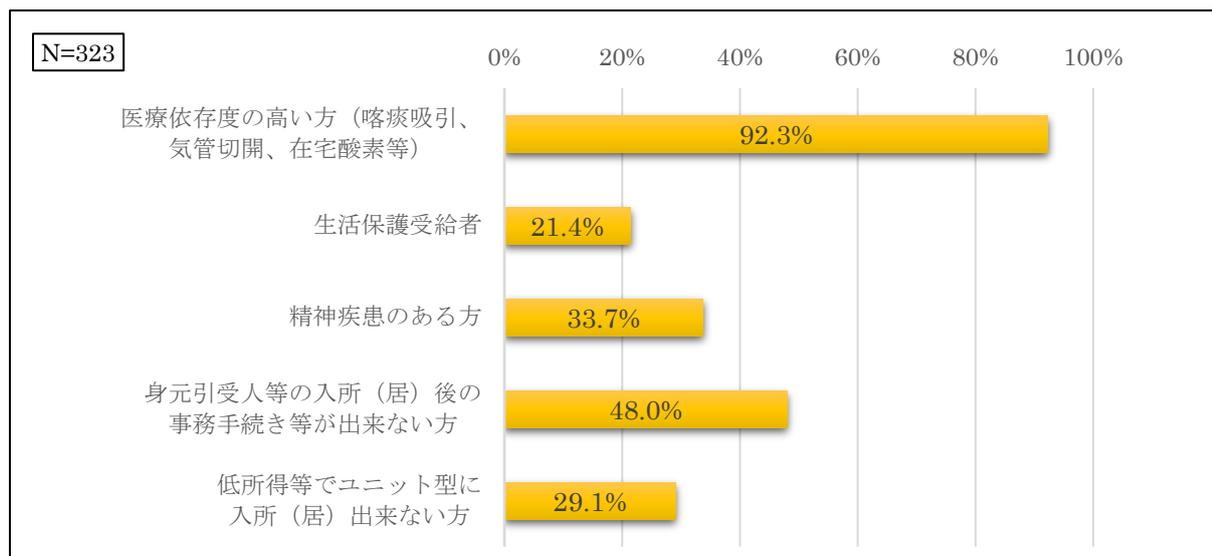
●入所(居)案内に対し1施設あたりが「断られた人数」は最大224人と多摩西部が最も多かった。23区、多摩東部でも最大値が100名を超える結果となった。

⑫入所(居)申込者について (N=310)

	増加している	やや増加している	あまり増加していない	増加していない	合計
低所得者の入所(居)申込が増加していますか。	74 (23.9%)	99 (31.9%)	94 (30.3%)	43 (13.9%)	310 —
医療ニーズの高い方の入所(居)申込が増加していますか。	143 (46.1%)	123 (39.7%)	30 (9.7%)	14 (4.5%)	310 —
身寄りや身元引受人(連帯保証人、保証人を含む)が不在の方の入所(居)申込が増加していますか。	96 (31.0%)	121 (39.0%)	63 (20.3%)	30 (9.7%)	310 —

●「増加」、「やや増加」を合わせると「医療ニーズが高い方」は85.8%、「低所得者の方」は55.8%、「身寄りや身元引受人が不在の方」は70%の結果となった。

⑬入所（居）待機者の中で、入所（居）に至らない理由は何ですか。



●「医療依存度が高い方」が92.3%と最も多い結果となり、上記の対象者は入所（居）待機者として名簿に残り続けると考えられる。

⑭入所（居）待機者の要介護度別人数（令和6年3月31日現在）

	回答数	要介護5	要介護4	要介護3	要介護3以上の合計	要介護2	要介護1
		人数	人数	人数	人数	人数	人数
全体	323	10,853	15,993	16,650	43,496	2,307	1,102
23区	170	5,069	7,574	7,765	20,408	840	309
多摩東部	85	4,359	6,348	6,650	17,357	1,004	572
多摩西部	66	1,424	2,071	2,231	5,726	459	219
島しょ	2	1	0	4	5	4	2

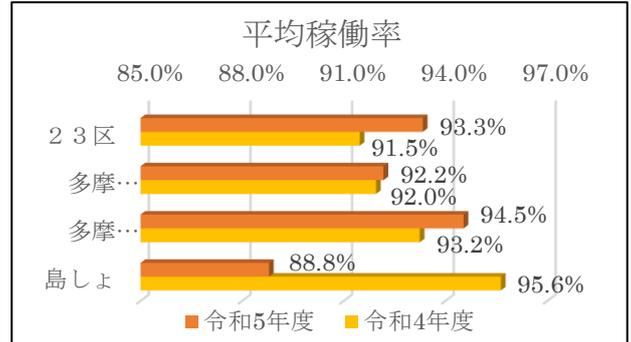
入所（居）待機者の要介護度別の人数  
＜令和6年3月31日現在＞



### (3) 施設運営の状況 [特養]

#### ①稼働率（ショートステイは含めず）

	令和5年度		令和4年度	
	回答数	平均	回答数	平均
全体	316	93.3%	305	92.02%
23区	166	93.3%	167	91.5%
多摩東部	83	92.2%	71	92.0%
多摩西部	65	94.5%	63	93.2%
島しょ	2	88.8%	4	95.6%



#### ①-1 エリア毎の形態別稼働率（ショートステイは含めず）

- 島しょ部を除き、全ての地域で稼働率は上昇しており、最も高い地域は多摩西部で、94.5%となった。全体の稼働率は93.3%の結果となった。
- 地域毎の形態別では、従来型が最も稼働率が高い結果となった。

	ユニット型	従来型	一部ユニット型
23区	93.0%	93.7%	92.8%
多摩東部	90.7%	92.8%	92.6%
多摩西部	93.9%	94.7%	95.3%
島しょ	—	88.8%	—

#### ②令和5年度延べ空床数

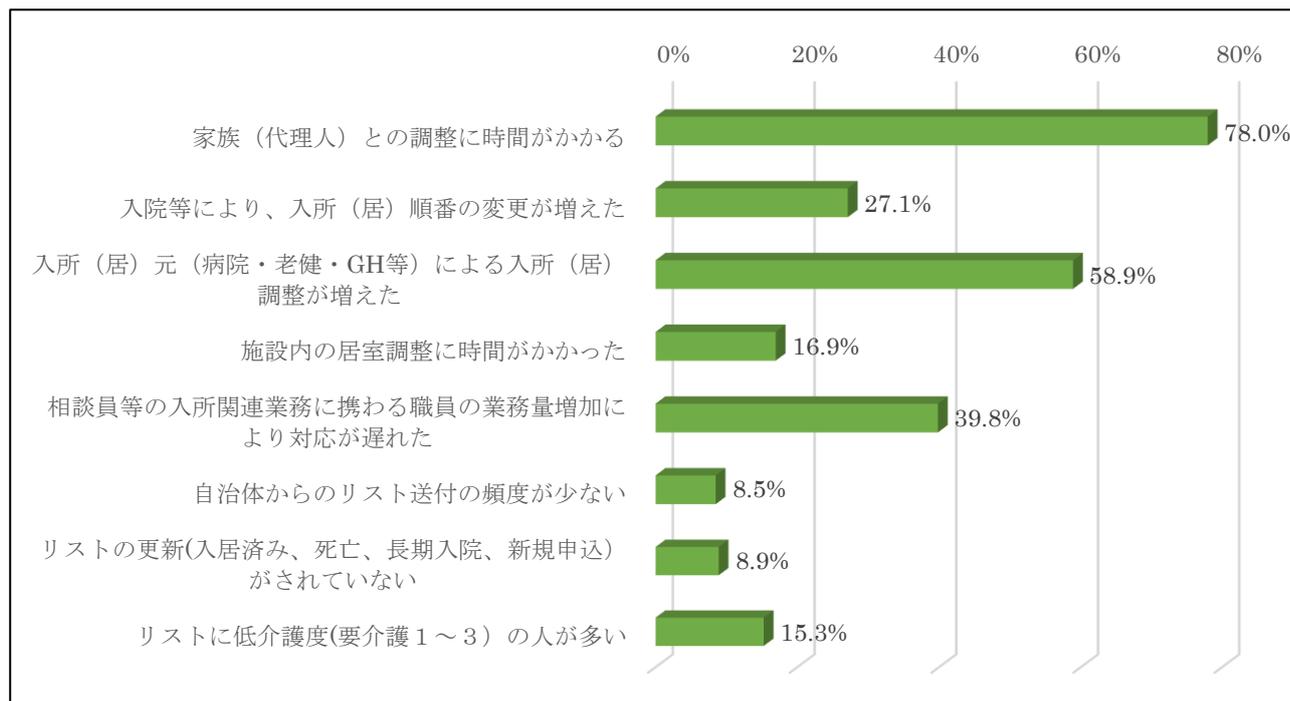
	回答数	延べ空床数	1施設平均/年	1施設平均/月
全体	316	731,452	2,315 床	193 床
23区	166	368,220	2,218 床	185 床
多摩東部	83	219,677	2,647 床	221 床
多摩西部	65	140,208	2,157 床	180 床
島しょ	2	3,347	1,674 床	140 床

#### ②-1 令和5年度地域毎の形態別延べ空床数

		回答数	延べ空床数	1施設平均/年	1施設平均/月
23区	ユニット型	65	152,402 床	2,345 床	195 床
	従来型	86	173,635 床	2,019 床	168 床
	一部ユニット型	15	42,183 床	2,812 床	234 床
多摩東部	ユニット型	24	72,779 床	3,032 床	253 床
	従来型	48	114,655 床	2,389 床	199 床
	一部ユニット型	11	32,243 床	2,931 床	244 床
多摩西部	ユニット型	18	41,096 床	2,283 床	190 床
	従来型	41	86,857 床	2,118 床	177 床
	一部ユニット型	6	12,255 床	2,043 床	170 床
島しょ	従来型	2	3,347 床	1,674 床	140 床

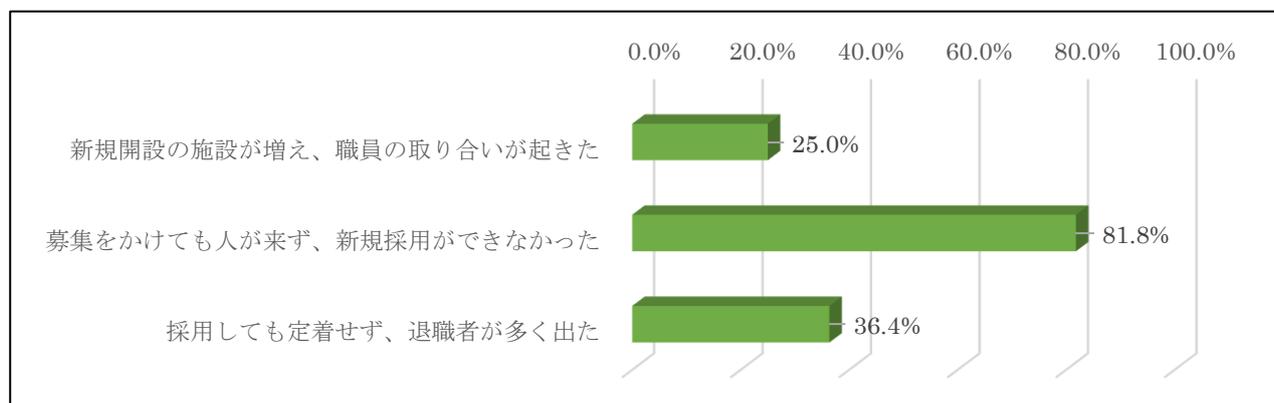
- 都内全体で年間73万床の空床が発生しており、1施設の1ヶ月平均空床数では多摩東部が221床と最も多く、次いで23区が185床の結果となった。地域毎の形態別で見ると、23区は一部ユニット型、多摩東部、多摩西部はユニット型となり、地域毎に空床数に違いが生じている結果となった。

③空床となっている主な理由「入所（居）に至るまでの期間延びた」理由（N=236）

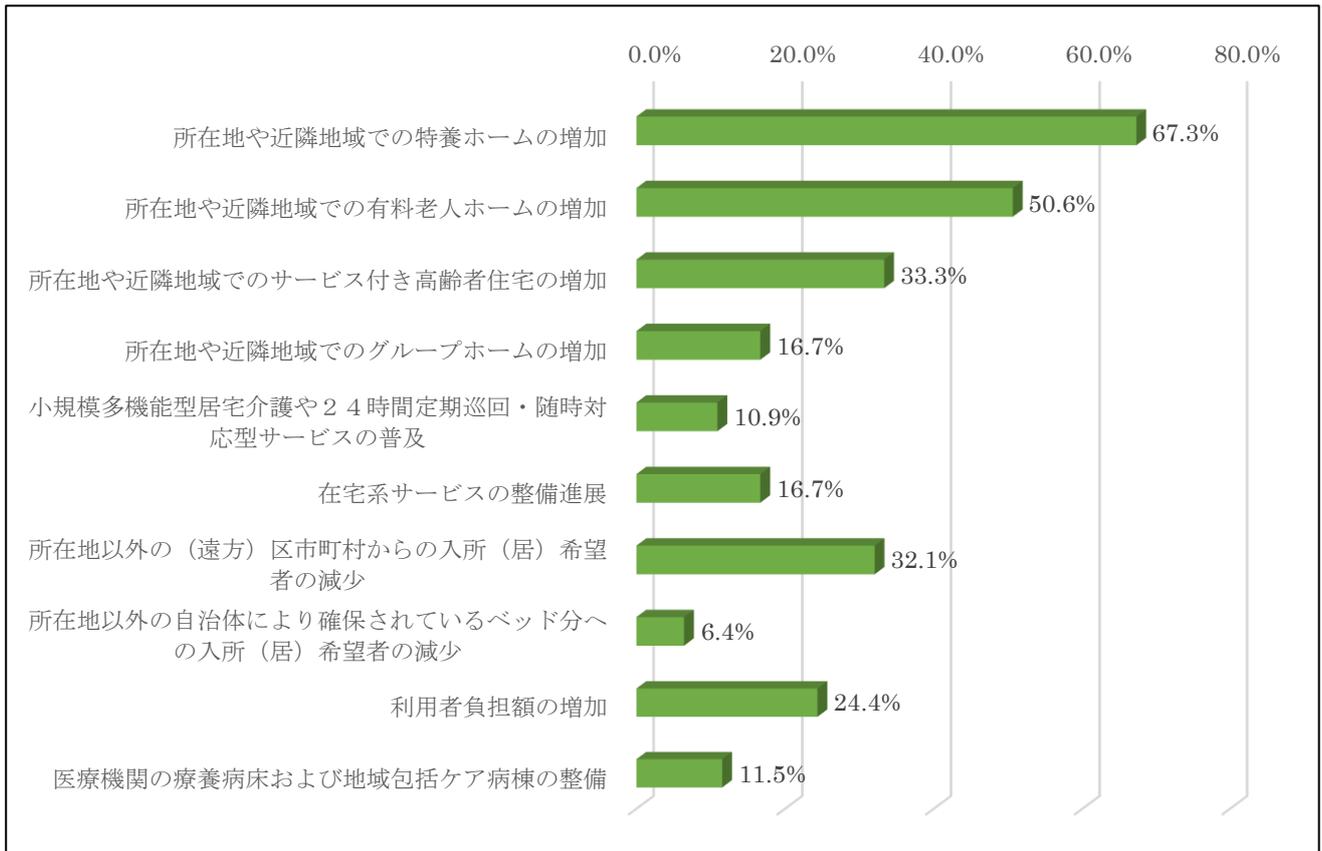


●空床の主な理由が「入所（居）に至るまでの期間延びた」理由として、78.0%の回答施設が「家族（代理人）との調整に時間がかかる」と回答している。また、約半数となる58.9%の回答施設が「入所（居）元による入所調整が増えた」と回答しており、入所（居）調整に必要以上の時間を要することが明らかとなった。

④空床となっている主な理由「施設の体制や職員配置等が理由で受け入れられない」理由（N=44）



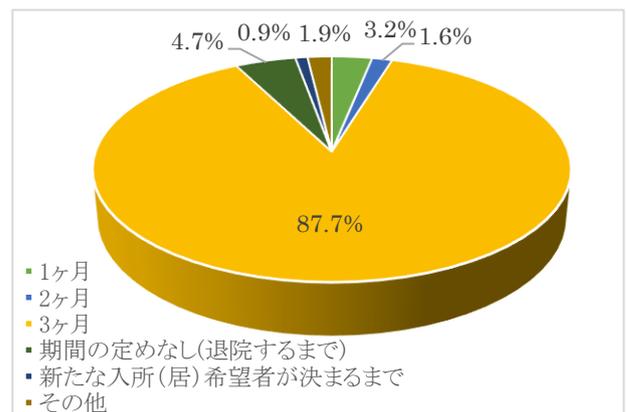
⑤空床となっている主な理由「入所（居）待機者の減少」理由 (N=156)



●空床の主な理由が「入所（居）待機者の減少」理由として、「所在地や近隣地域での特養ホームの増加」と回答している施設が67.3%と最も多く、次いで「所在地や近隣地域での有料老人ホームの増加」が50.6%となった。全体的に新規施設の伸展により待機者が減少している結果となった。

⑥入院者の居室確保の期間

全体	回答数	%
	316	-
1ヵ月	10	3.2%
2ヵ月	5	1.6%
3ヵ月	277	87.7%
期限の定めなし(退院するまで)	15	4.7%
新たな入所(居)希望者が決まるまで	3	0.9%
その他	6	1.9%



●入院となった入居者居室確保について、87.7%の施設が「特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準」に沿って、「3ヵ月」と定めている。

⑦退所（居）の主な理由

	回答	看取り(死亡) ※施設内		医療機関へ転院 (死亡含む) ※施設以外		在宅復帰		その他	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
		308	4,860	58.1%	3,147	37.7%	68	0.8%	282
23区	161	2,432	57.2%	1,651	38.9%	38	0.9%	127	3.0%
多摩東部	81	1,271	58.5%	797	36.7%	17	0.8%	88	4.0%
多摩西部	62	1,147	60.0%	687	35.9%	13	0.7%	66	3.4%
島しょ	2	10	43.5%	12	52.2%	—	—	1	4.3%

●全ての地域に於いて、施設内で最後まで生活を送れる「看取り介護」が58.1%と最も多く、「医療機関へ転院（施設外）」が37.7%の結果となった。また、「在宅復帰」は0.8%と低い結果となった。

⑧退所（居）から新規入所（居）者の契約迄の日数

	回答数	中央値	最大	最小
全体	236	20	164	5
23区	162	25	132	5
多摩東部	77	23	215	5
多摩西部	62	14	81	3
島しょ	2	15	15	15

●退所（居）から入所（居）までの日数は、中央値が23区で25日と最も長い結果となった。また、多摩東部では23日、多摩西部は14日、島しょ部は15日となり、全体では20日間の空床ベッドが発生していることが明らかとなった。

⑨令和5年度に新規入所（居）した方で、入所（居）時に要介護2以下だった方について、特例入所（居）適用要件ごとの人数

特例入所適用要件	回答数	人数
認知症の周辺症状が重度である人	33	54名
虐待が認められた人	7	7名
一人暮らしまたは高齢者のみ世帯人	41	72名
精神疾患による重度症状がある人	5	14名
自治体と連携しての緊急入所となった	14	12名

●「一人暮らし又は高齢者世帯」の方が特例入所（居）適用要件として最も多く、次いで「認知症の周辺症状が重度である人」が多かった。

⑩入所（居）後の認定更新で要介護2以下になった方について、下記の項目に該当する人数

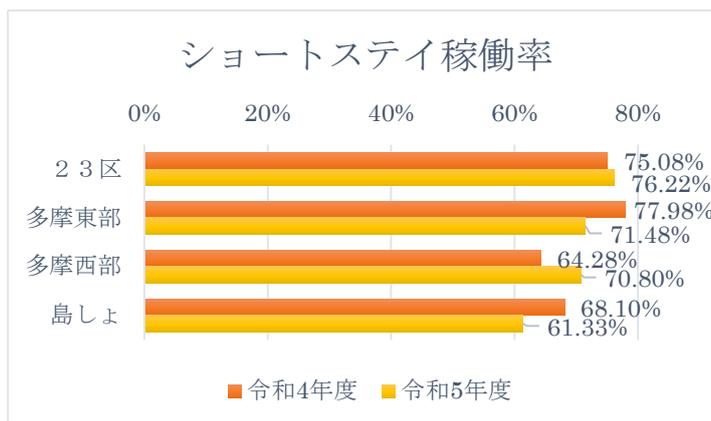
	特定入所手続きをして引き続き入所している方		区分変更申請または不服申し立てをした方		退所した方		上記のいずれにも該当しない方	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
全体	449	61.1%	61	8.3%	10	1.4%	215	29.2%
23区	211	70.8%	30	10.1%	6	2.0%	51	17.1%
多摩東部	128	47.1%	17	6.3%	3	1.1%	124	45.6%
多摩西部	109	66.5%	14	8.5%	1	0.6%	40	24.4%
島しょ	1	100%	0	—	0	—	0	—

●入所（居）後の認定更新で要介護2以下になった方の61.1%は特例手続きをして引き続き入所（居）していることが明らかとなった。

#### (4) 施設運営の状況 [ショートステイ]

##### ①専用ベッドのショートステイ稼働率

	令和5年度	
	回答数	平均
全体	227	74.27%
23区	126	76.22%
多摩東部	66	71.48%
多摩西部	33	70.80%
島しょ	2	61.33%



●島しょ部を除き各地域においては70%台の結果となった。23区と多摩西部に於いては前年比増となり、多摩東部と島しょ部は前年度比減の結果となった。

##### ②ショートステイの稼働率が低下した理由 (N=276)

	※複数回答	回答数	%
1 利用者が減少した		100	36.2%
2 新規利用者の減少はないが、特養入所や他の在宅サービス利用の増加による減少		78	28.3%
3 利用控えによる減少があった(利用者負担割合の増加・単位数の制限等)		29	10.5%
4 新型コロナウイルスの影響		144	52.2%

●ショートステイ稼働率低下の大きな要因として、「新型コロナウイルスの影響」が52.2%（前回88.8%）と最も多く、次いで、「利用者が減少した」が36.2%（前回37.5%）の結果となった。新型コロナウイルスの影響は前年比では大幅に減少していた。

##### ③開設以来、ショートステイの定員を特養の定員に転換しましたか (N=272)

	令和5年度	
	回答数	%
転換したことはない	217	79.8
転換した	49	18.0
調整中	2	0.7
検討中	4	1.5

●ショートステイ床を特養定員に転換した施設は回答施設の18%となっており、大きな変化は見られなかった。

##### ④開設以来、ショートステイの定員を特養の定員に転換した数

	転換床			転換ユニット		
	回答数	合計	平均	回答数	合計	平均
全体	57	422	7.4	3	3	1.0
23区	34	265	7.8	1	1	1.0
多摩東部	15	113	7.5	1	1	1.0
多摩西部	7	40	5.7	1	1	1.0
島しょ	1	4	4.0	—	—	—

●転換した施設の平均転換床は全体で7.4床となり、平均転換ユニットは全体で1ユニットが特養の定員に転換された。

## 4 考 察

### 調査の視点① 待機者減少の実態把握と要因、対策

●本調査では入所（居）待機者数を介護度別に示しているが、各施設に回答して戴いた数値をもとに集計をしているため、名寄せ等を行っていない数値となっている。その上で、要介護度3以上の待機者数は都内全体で43,496名となった。前年の36,337名を上回る待機者数となったが、今回の回答施設数が前年度に比べ増加している為、回答施設数の増加によるものであり、入所（居）申込者が大幅に増加したのではないと考えられる。また、入所（居）待機者の実態として、回答施設の85.8%は、入所（居）申込者に「医療ニーズが高い方」が増加していると回答しており、その他にも「入所（居）申込者の内、入所（居）に至らない理由」として、92.3%の施設が「医療依存度の高い方」と回答している。さらに、今回の調査では「一人が申込出来る施設数」を確認しており、回答施設の79.8%が制限無しとしているが、施設数に制限があると回答した施設の中央値は3施設となった。

以上のことから、今なお入所（居）できない施設として根強い声が聞かれるも、実態は短期間で入所（居）が可能な施設へと変化している結果が明らかとなった。さらに、待機者の中には「医療依存度の高い方」等の申込が含まれており、生活をベースにした特養では対応が難しく、いつまでも名簿に残り続けている申込者が一定程度存在していると想定される。また、実待機者数は本調査の待機者数の平均値を割り出し、平均値を都内全体の特養数で乗じた数を施設申込制限の中央値の3施設で換算すると約23,296名となり、東京都が実施した「令和4年度入所申込等に関する調査」における、要介護3以上の申込者21,495人と同水準の人数であることが明らかとなった。

### 調査の視点② 待機者減少と特養稼働率の低下の相関性

●特養稼働率は全体的に前年度と比較し改善している結果となったが、施設経営の観点からすると、平均稼働率が93.3%では厳しい経営を迫られる現況と考えられる。その要因として、本調査では年間空床数に着目した結果、都内全域で731,452床ものベッドが空床であった。また、特養定員と退所（居）者数をもとにした退所率でも28.9%となる8,357名が退所（居）されており、「退所者数＝入所（居）可能数」となり、都内全体で早期に入所（居）が可能となっていることから待機者が減少していると考えられる。

●待機者の減少につながる調査結果として、自治体から送られてくる名簿の頻度が1ヶ月と回答した施設が43.3%と最も多く、昨年と比較しても自治体からの送付頻度が改善され、入所（居）の手続きが早期に実現している。その外にも、入所（居）の案内をした際に断られた人数でも1施設の中央値で5名となっており、断られる理由については、「まだ大丈夫」等のお守りの申込者から「他施設に入所できた」等の回答も多く聞かれるようになったと施設からの意見も出ている。

以上のことから、入所（居）申込者にとっては、入所（居）できない特養から、早期に入所（居）可能な特養となり、お守りの申込はさらに減少すると考えられる。

### 調査の視点③ ショートステイ需要の後退の要因と対策

●専用ベッドに於ける稼働率は島しょ部を除き、70%台を推移しており、前年比微増の結果となった。多摩西部は平成30年度の本調査以来の70%台となった。しかし、稼働率が前年比増ではあるが、決して利用者が増加傾向にある訳ではなく、実際に稼働率の減少理由でも「利用者が減少した」と回答している施設が36.2%となっている。考えられる要因として、特養への入所（居）待ちとなっている待機者が長期間のショートステイ利用者として一定程度滞在していると考えられる。また、自治体によっても異なるが、利用者が増加しない要因として、多くが特養併設型のショートステイであり、特に従来型特養の入所（居）者との同じ場所での生活に、軽介護度のショートステイ利用者は違和感を覚え、リピーターにつながらない等も考えられるため、ショートステイの受入にあたり、利用者の満足度を上げる環境整備や様々な取り組みが施設側にも求められる現状があると考えられる。